

取扱説明書

お客様用

天井点検口
ハイハッチMMII^①

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

⚡ △ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

🚫 ○ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

❗ ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

ご利用にあたって

⚠ 警告

🚫 禁止

はしごを立てかけない

点検口にはしごを立てかけると、ハッチが歪んだり、脱落して、重大事故につながる場合があります。

🚫 分解禁止

製品を分解・改造しない

施工後は固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造しないでください。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合があります。

🚫 禁止

強い衝撃をあたえない

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。ハッチが歪んだり、内蓋が落下するなど、重大事故につながる場合があります。

🚫 禁止

ハッチに手をかけない、ぶらさがらない、乗らない

ハッチに手をかけたり、ぶらさがったり、乗ると、ハッチが脱落して、重大事故につながる場合があります。

🚫 禁止

重量物を取付けない

防犯カメラやスピーカー等、重量物を取付けると、ハッチが破損したり脱落して、重大事故につながる場合があります。

🚫 禁止

点検口を開けたままにしない

点検口をあけたままにすると、通行人にぶつかる等して、重大事故につながる場合があります。短時間であっても、その場を離れる時は、内蓋を閉めて、施錠を確実に行ってください。

❗ 必ず実行

点検口をはずさない

点検口は、外さないでください。振動などで、突然ハッチが脱落することが予想されます。万一内蓋を外した場合は、施工要領書に従い、確実に取付けてください。

❗ 必ず実行

蓋を閉める時、指や手を挟まないようにする

指や手を挟むと、エッジにより思わぬケガの原因になります。また、解放時に内蓋のエッジでケガをしないように、取扱には十分注意してください。

内蓋の開閉方法

1 開け方

内蓋を手で押さえ、係止スライドを手でスライドさせ、ロックを解除し、ゆっくり開きます。鍵付の場合は、鍵でロックを解除します。鍵はロックしないと抜けません。

2 閉め方

① 内蓋の係止スライド側を上を持ち上げます。

⚠ 注意

🚫 禁止 この時係止スライドを持って持ち上げないで下さい。係止スライドが変形する恐れがあります

② 内蓋が外枠に当たる直前に、軸側にスライドさせ蓋を閉めます。

③ 係止スライド又は鍵をロックし、蓋が落ちて来ないことを確認します。

⚠ 警告

❗ お願い ロックを解除すると内蓋が急に開き、思わぬケガをする恐れがありますので、必ず内蓋を手で支えながら操作を行ってください。

解除

ロック

内枠

係止スライド

外枠

解除

ロック

内枠

外枠

施工マニュアル

施工業者様用

天井点検口
ハイハッチMMII^①

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

⚡ △ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

🚫 ○ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

❗ ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

施工の前に

⚠ 警告

❗ 強度を確認

必ず強度のある鋼製天井下地に取り付けてください。

❗ 開口補強する

強度が充分で無い天井下地に取り付けると、点検口が外れて落下することがあります。強度が充分で無い場合は開口補強を行ってください。

❗ お願い

取り付け完了後、点検口にガタツキが無いことを確認してください。

⚠ 注意

🚫 分解禁止

係止スライドは外さないでください。

❗ 障害物の確認

取り付ける場所は事前によく確認してください。

🚫 禁止

係止スライドはていねいに扱ってください。

内蓋の開閉方法

① 内蓋を手で押さえ、係止スライドを手でスライドさせ、ロックを解除し、ゆっくり開きます。鍵付の場合は、鍵でロックを解除します。鍵はロックしないと抜けません。

⚠ 注意

🚫 禁止 この時係止スライドを持って持ち上げないで下さい。係止スライドが変形する恐れがあります

② 内蓋が外枠に当たる直前に、軸側にスライドさせ蓋を閉めます。

③ 係止スライド又は鍵をロックし、蓋が落ちて来ないことを確認します。

⚠ 警告

❗ お願い ロックを解除すると内蓋が急に開き、思わぬケガをする恐れがありますので、必ず内蓋を手で支えながら操作を行ってください。

解除

ロック

内枠

係止スライド

外枠

解除

ロック

内枠

外枠

納まり図

取付用チャンネル(内ー内)間隔

チャンネルキャッチ

蝶ナット

取付用チャンネル(別途)

下地材切断寸法

外枠

内枠

固定アングル

係止受け

天井仕上材

天井下地材

係止スライド

仕上材切断寸法

呼称寸法 □303 □454 □606

1 内枠の取り外し

- ① 係止スライドのロックを解除します。
(取扱説明書のページ参照)
- ② 回転軸(2本)をプラスドライバーでゆるめます。
※回転軸の出寸法が2mm程度になるまでゆるめてください。
- ③ 係止スライドを上に向け、内枠を上を持ち上げ外枠から取り外します。

2 外枠の天井下地への固定

- ① 取付けに不要な野縁(Mバー)を、天井開口にかからない寸法で切断します。
- ② 取付用チャンネル2本を下表の寸法で天井開口の中心振り分けとし、平行に野縁受け(チャンネル)に乗せ固定します。

品番	取付用チャンネル (内々)間隔	天井仕上材 開口寸法 ※1	天井下地材 開口寸法 ※1
HHMMIIφ303	約306	303×303	306×306
HHMMIIφ454	約457	454×454	457×457
HHMMIIφ606	約609	606×606	609×609
HHMMIIφ3060※2	約306または約609	303×606	306×609

※1 後付け工法の場合は天井仕上材・天井下地材共に同じ寸法です。
※2 HHMMIIφ3060は、受注生産品です。

ポイント

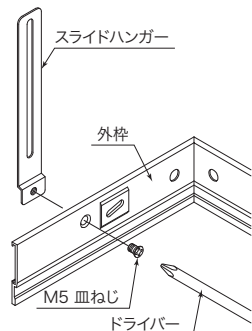
開口は対角線を正確に守って開けて下さい。

開口がいびつな場合、外枠が入らなかったり、内蓋が閉まらない恐れがあります。

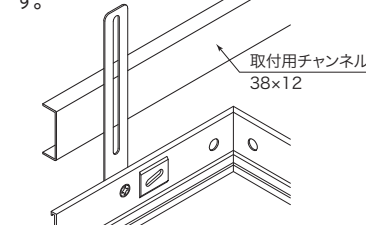
- ③ 外枠を付属のチャンネルキャッチで取付用チャンネル(※別途)に固定します。
取付方法は下記を参照下さい。(※取付用チャンネルは38×12とし、t=1.2mm以上を推奨します。)

チャンネルキャッチの取付け

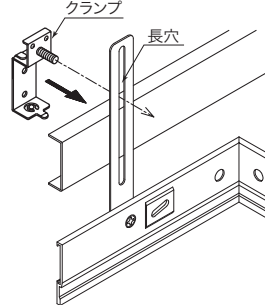
- 1 外枠の穴にスライドハンガーを付属のネジで固定します。
(1辺につき2ヶ所、合計4ヶ所)



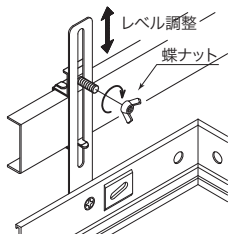
- 2 外枠を天井下地材の開口に挿入します。



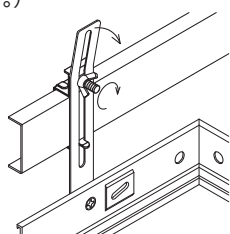
- 3 クランプをスライドハンガーの長穴へ差し込みます。



- 4 付属の蝶ナットを取り付け、外枠のレベルを調整し、仮固定します。



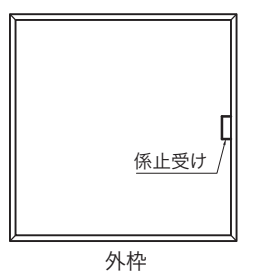
- 5 蝶ナットを増し締めして固定します。
(スライドハンガーが内側に曲がります。)



ポイント

外枠には1辺にのみ係止受けが付いており、この辺が内枠の係止スライド側となります。

外枠の向きに注意して、取付を行って下さい。



3 内枠天井材の施工

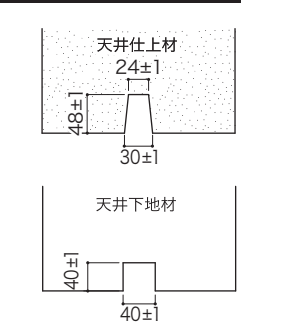
- ① 天井材を所定の寸法に切断します。鍵付の場合は、右図のように係止部を切り欠いてください。

<天井ボード切断寸法>

品番	天井仕上材	天井下地材
HHMMIIφ303	288×288	262×262
HHMMIIφ454	439×439	413×413
HHMMIIφ606	591×591	565×565
HHMMIIφ3060※	288×591	262×565

※HHMMIIφ3060は、受注生産品です。

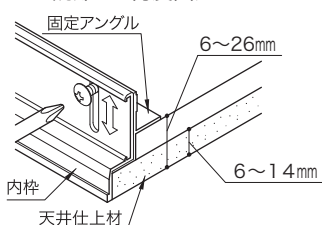
鍵付の場合の切り欠き寸法



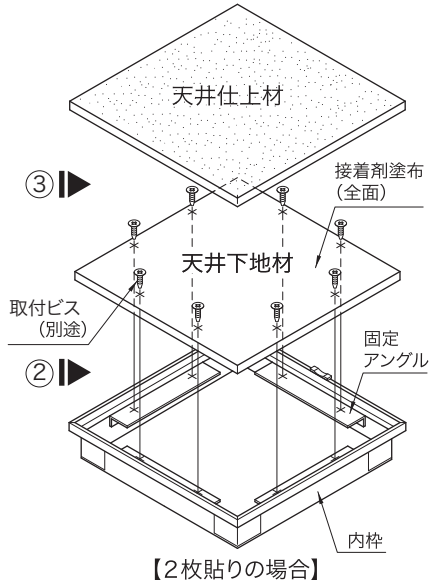
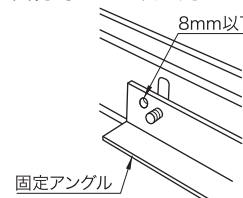
- ② 天井下地材を固定アングルに取付ビス(別途)で固定してください。
※取付ビスは、ワンタッチビスなどの軽量下地用ビスを使用してください。
※取付ビスは1辺につき2本、計8本を均等に使用してください。

- ③ 天井仕上材を天井下地材に接着固定してください。
※接着剤が固まるまでの仮固定として、釘またはステーブルで固定してください。

- ④ 固定アングルのねじをゆるめて、天井仕上材表面と内枠の目地が同一の面になるように調節して再度固定してください。

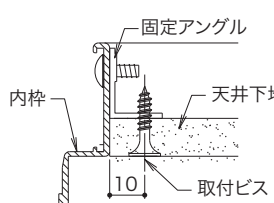


天井下地材・天井仕上材の厚み合計が8mm以下の場合、内枠に取り付けてある固定アングルを8mm以下用の穴で取り付けてください。
※出荷時は8mm以上用になっています。



注意

- ① お願い
取付けビスは右図の様に、端から10mmの位置で固定してください。

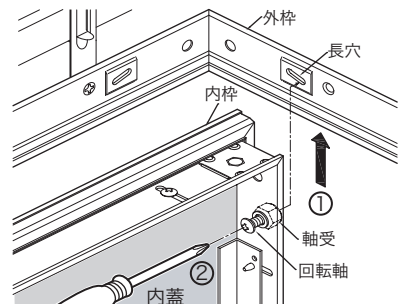


4 内蓋の取り付け

- ① 外枠の長穴位置に、下側から内枠を垂直に差し込みます。
※係止受けの位置に係止スライドがくる位置を選んでください。
- ② 外枠の長穴と内枠の軸受位置を合わせ、回転軸をプラスドライバーで最後まで確実に締め付け固定します。
- ③ 内蓋をゆっくり閉め、係止スライドをロックしてください。
(取扱説明書の「閉め方」を参照ください)

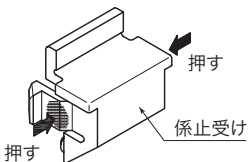
注意

- ① お願い
確実に締め付けしないと、開閉時に回転軸が緩む恐れがあります。



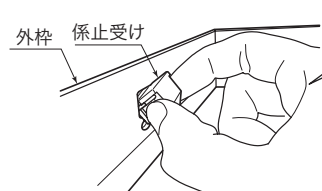
5 開閉方向を変更したい場合は・・・

- ① 外枠に付いている係止受けを図のように両サイドを指で押しながら外してください。
- ② 外した係止受けを、変更したい位置に両サイドを指で押しながら取り付けてください。



ポイント

係止受けは両サイドをしっかり押しながら、上に持ち上げるように外してください。



注意

- ① お願い
係止受けを再度取り付ける場合は、爪が嵌合しているかどうか、外枠と係止受けの間にすきまがないことを確認してください。



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

ナカ工業株式会社

URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカ・テクノナタル株式会社

URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。